



Bank of Japan Fukushima Branch

福島県金融経済概況

【概要】

（経済情勢）

県内景気は、一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに持ち直している。最終需要の動向をみると、個人消費は、一部自動車メーカーの出荷停止の影響が残るものの、緩やかな回復を続けている。住宅投資は、弱めの動きとなっている。設備投資は、コロナ禍で見送られた投資や能力増強投資がみられており、緩やかに持ち直している。公共投資は、減少している。

鉱工業生産は、横ばい圏内の動きを続けてきたが、海外経済減速の影響などから、足もと弱めの動きとなっている。

雇用・所得環境は、緩やかに改善している。

消費者物価指数（除く生鮮食品）（2月）は、前年を上回った。

先行きについては、物価上昇の個人消費への影響、海外経済の動向が生産に与える影響、雇用・所得の動向に注意していく必要がある。

（金融情勢）

実質預金は、前年を上回って推移している。貸出は、前年を上回って推移している。貸出約定平均金利は、既往ボトム圏内の水準で推移している。企業倒産は、増加している。

【前回からの変化】

総括	個人消費	住宅投資	設備投資	公共投資	生産	雇用・所得
→	↑	↓	→	→	↓	→

（注）

- ↑ : 前回から改善度合いが強まっている、もしくは悪化度合いが弱まっている。
- : 前回から変化なし。
- ↓ : 前回から改善度合いが弱まっている、もしくは悪化度合いが強まっている。

【本件に関する問い合わせ先】

日本銀行 福島支店 総務課
TEL: 024-521-6353

本資料は、ホームページ
(<https://www3.boj.or.jp/fukushima/>)
にも掲載しています。



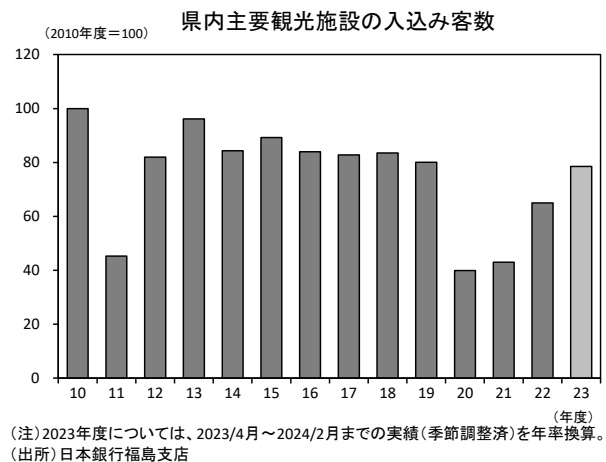
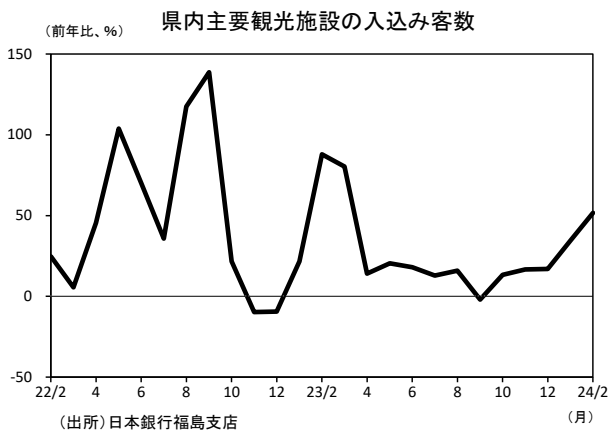
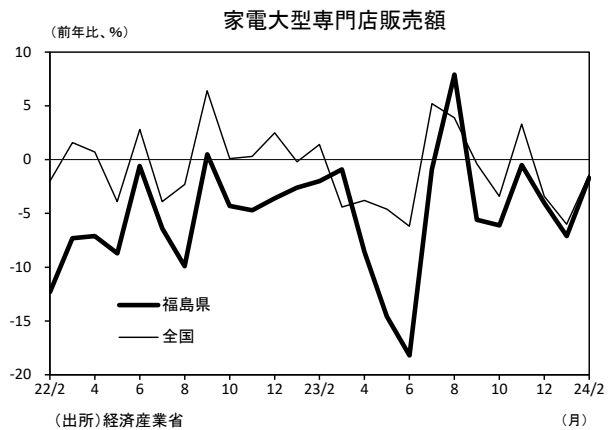
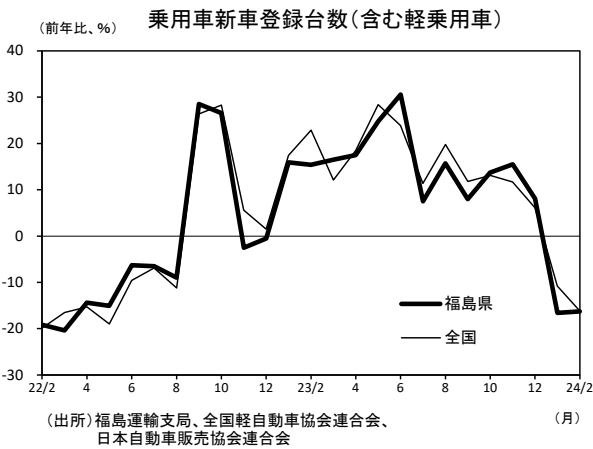
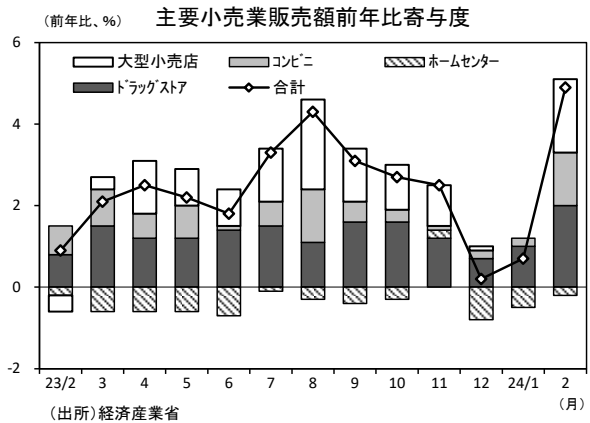
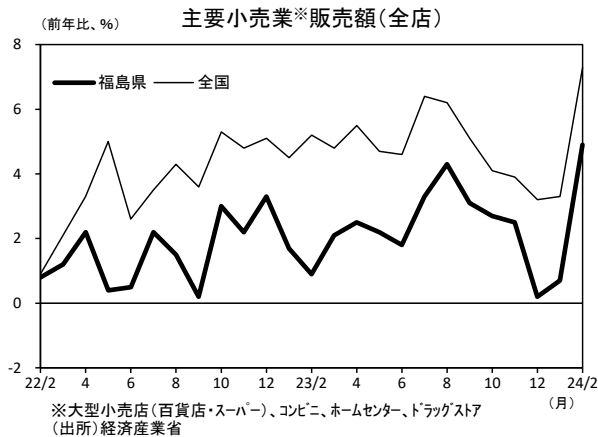
1. 需要項目別の動向

【個人消費】

個人消費は、一部自動車メーカーの出荷停止の影響が残るものの、緩やかな回復を続けている。

主要小売業販売額（2月）は、前年を上回った。乗用車新車登録台数（2月）、家電大型専門店販売額（2月）は、前年を下回った。

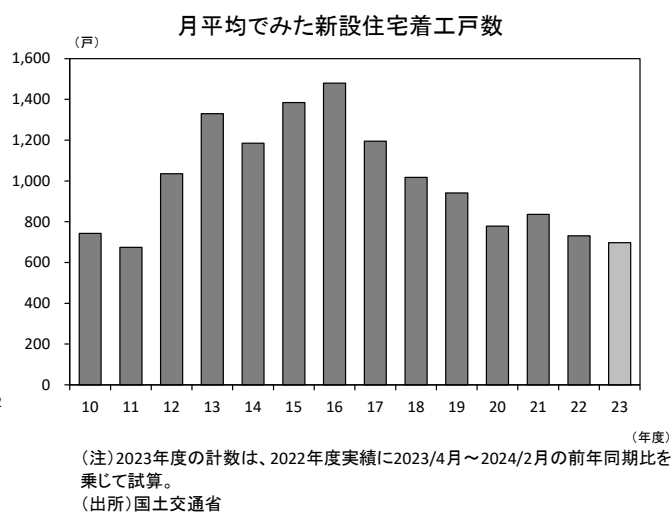
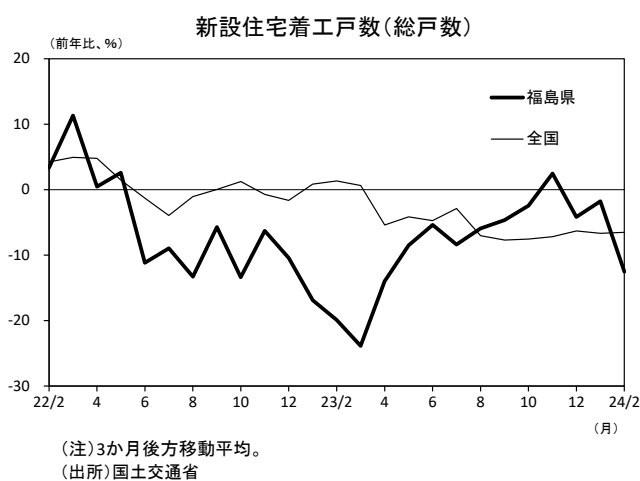
外食や旅行等のサービス消費は、緩やかに回復している。県内主要観光施設や宿泊施設への入込みは、緩やかに回復している。



【住宅投資】

住宅投資は、弱めの動きとなっている。

新設住宅着工戸数（2月<3か月後方移動平均>）は、前年を下回った。

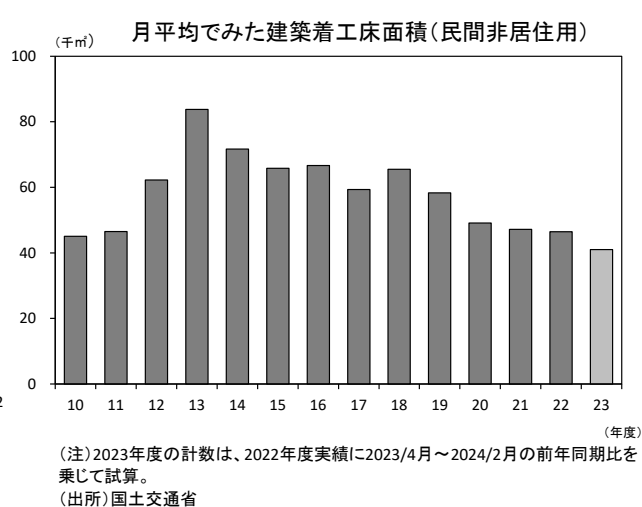
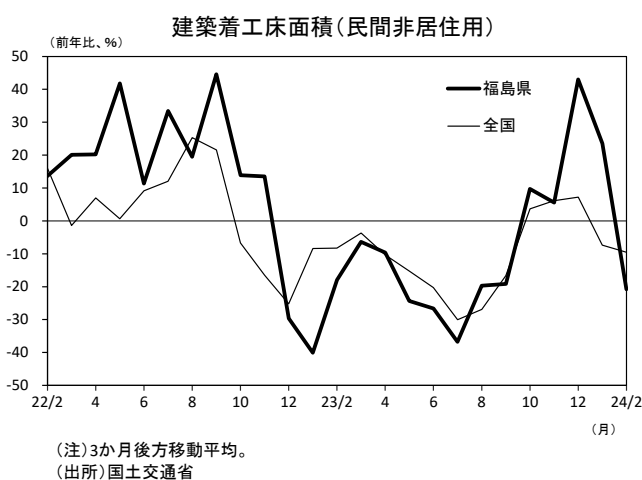


【設備投資】

設備投資は、コロナ禍で見送られた投資や能力増強投資がみられており、緩やかに持ち直している。

3月短観で県内企業の2024年度の設備投資計画をみると、製造業では新規事業への投資や能力増強投資、非製造業では新規出店や店舗改装を中心に、それぞれ前年度を上回る計画となっている。なお、2024年度計画は、2023年度に予定されていた案件の後ずれもあって、伸び率が高めに出ている。

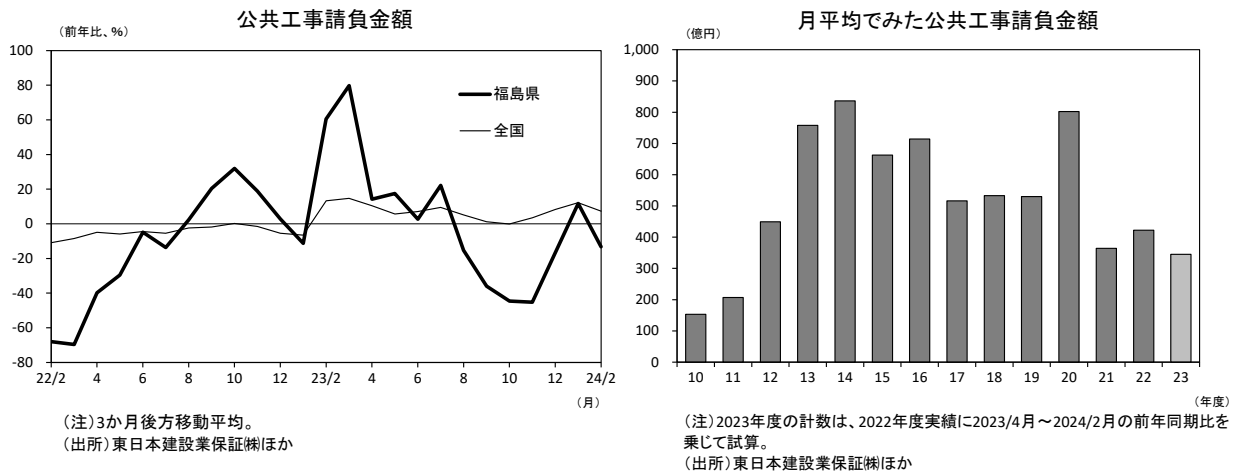
建築着工床面積（民間非居住用）（2月<3か月後方移動平均>）は、前年を下回った。



【公共投資】

公共投資は、減少している。

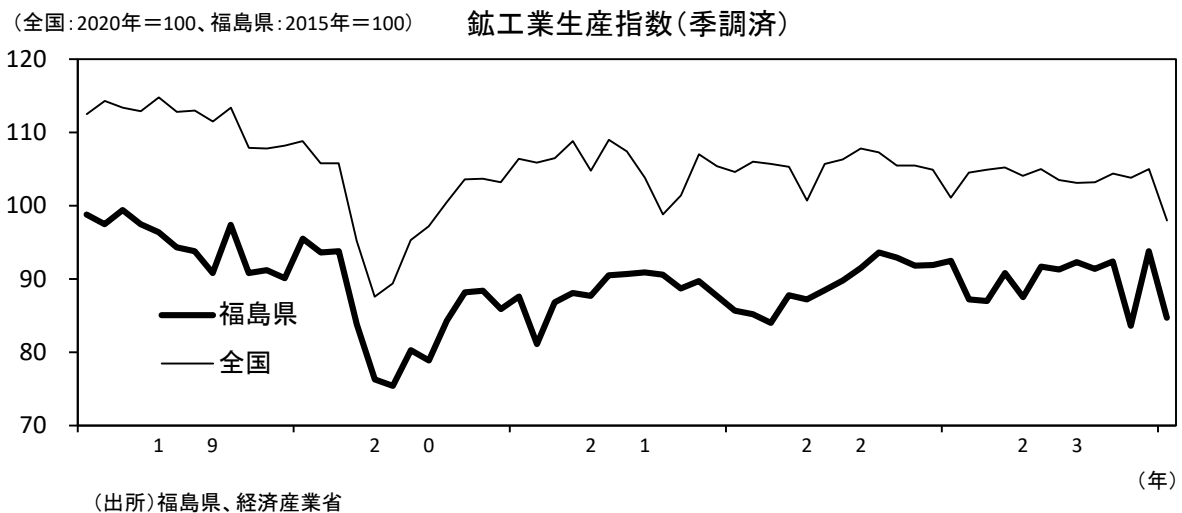
公共工事請負金額（2月<3か月後方移動平均>）は、前年を下回った。



2. 生産動向

鉱工業生産は、横ばい圏内の動きを続けてきたが、海外経済減速の影響などから、足もと弱めの動きとなっている。

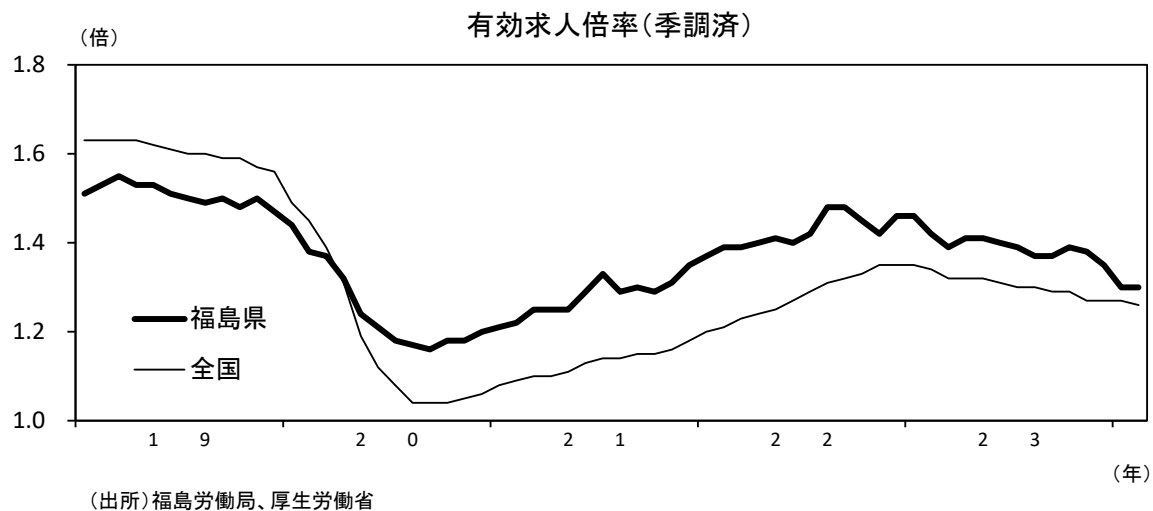
鉱工業生産指数（1月）を主な業種別にみると、情報通信機械は上昇した一方、はん用・生産用・業務用機械、電子部品・デバイス、輸送機械、化学は低下した。



3. 雇用・所得

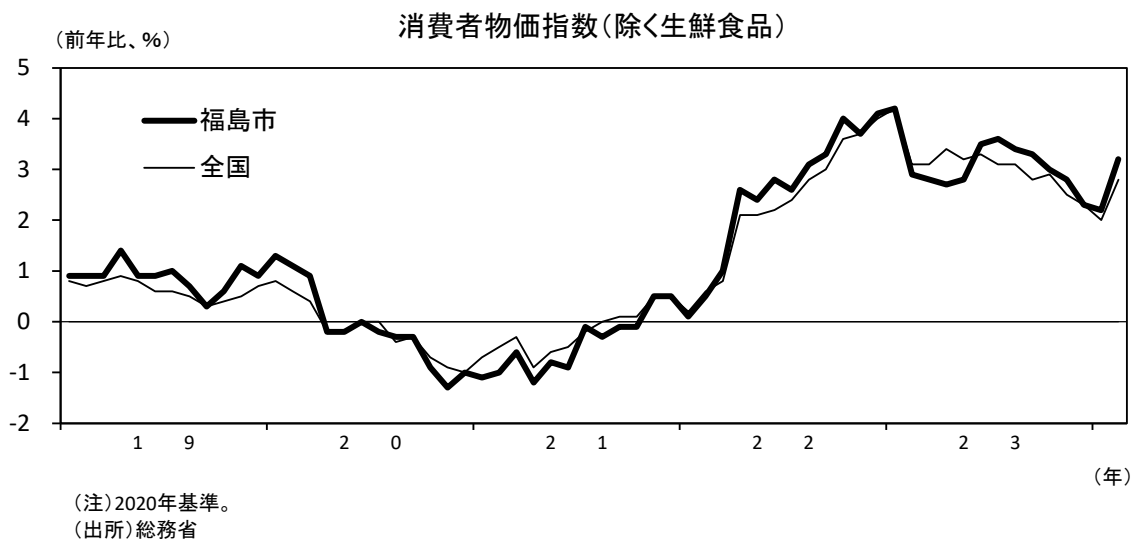
雇用・所得環境は、緩やかに改善している。

有効求人倍率（2月）は、前月と同水準となった。



4. 物価

消費者物価指数（除く生鮮食品）（2月）は、前年を上回った。



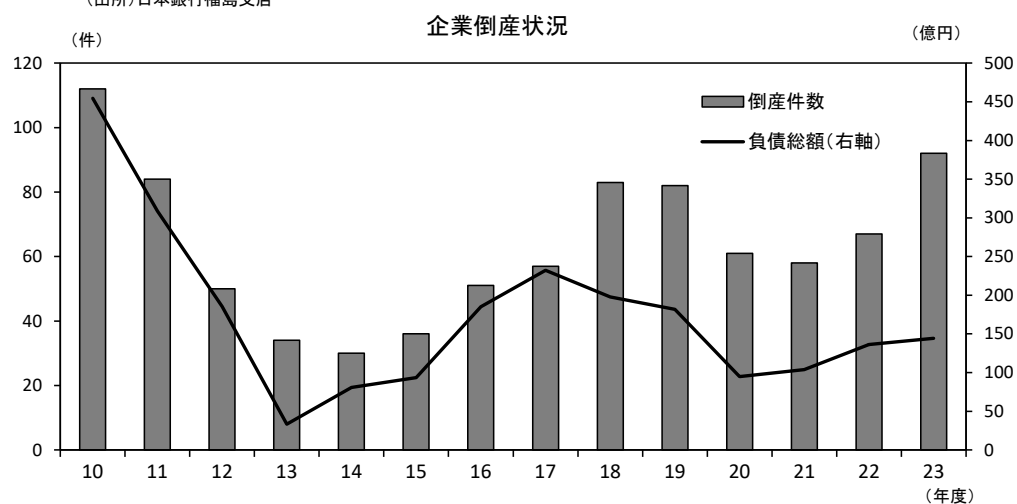
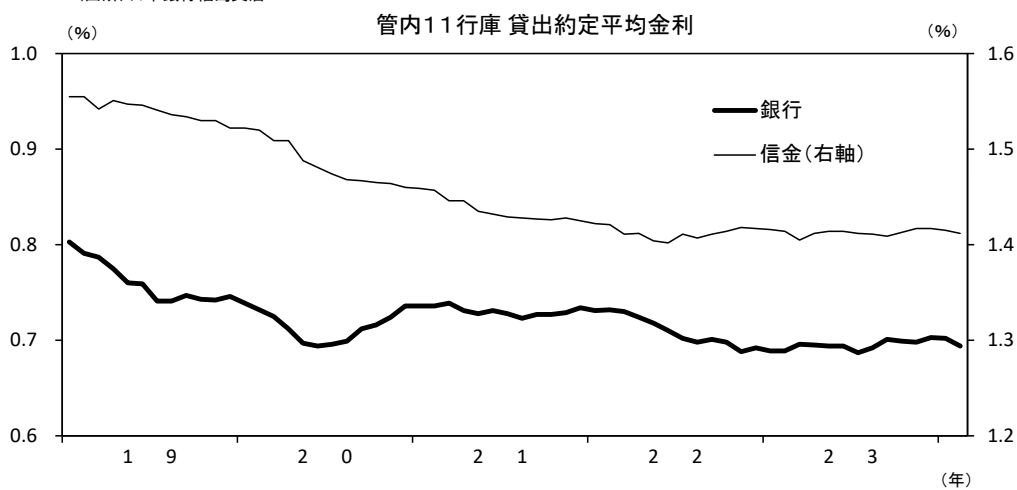
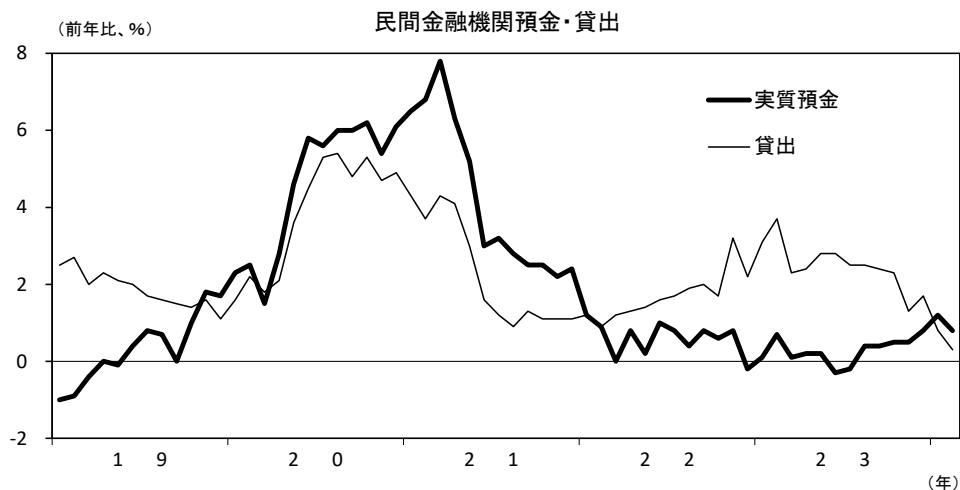
5. 金融情勢

実質預金は、前年を上回って推移している。

貸出は、前年を上回って推移している。

貸出約定平均金利は、既往ボトム圏内の水準で推移している。

企業倒産は、増加している。



以 上